

庄内地区 万里の松原に親しむ会 (令和4年度)

団体紹介

- 平成13年に設立、今年21周年を迎えました。
- 今年度は「美しい森づくり活動コンクール」において、農林水産大臣賞(全国1点)をいただきました
- 現在、個人会員97名、団体会員14団体が所属しています。
- 以下の活動を、年間を通して継続的におこなっている
 - ・会員による下草刈り・枝打ち・剪定などの松原整備
 - ・パルや松原での、自然や歴史資料、樹木名や野草名掲示
 - ・次代を担う児童・生徒達との協働を通して、海岸林の重要性を伝える活動
 - ・地域への情報発信と会員相互を結ぶ、月刊「短信まつば」と年1回の「広報まつば」を発行

活動地(酒田市を拠点に)

吹浦から湯野浜まで33Kmに及ぶ庄内砂丘には、海からの強風や飛砂から住民を守るために先人たちが植林してきた海岸林が続いており、近年は津波被害にたいする軽減の役割にも注目されている。酒田市街地の北端に「万里の松原」の海岸林が広がっており、多くの市民がウォーキングや自然観察、野外食事会など、憩いの時間を過ごしている。ここを拠点としながら、必要に応じて活動域を広げている。ここ数年、マツノサイエンチュウによる松枯れが広がり、心配している。

会員による松原整備活動



活動拠点のフォレストパル



酒田市街地の北端



月刊「短信まつば」(A4版両面)



年1回発行広報「まつば」(A3片面)



西荒瀬保育園児とともに



中学1年の枝打ち体験支援



子ども達との協働

保育園1園、小学校2校(今年は3校)、中学校1校、高等学校1校、時に大学の、児童・生徒・学生の海岸林の体験活動を支援している。この活動を通して次世代に海岸林の重要さと、守り育てる事の大切さを伝えていきたいと考えている。(春・秋の自然観察、枝打ち等体験活動、バスでの庄内海岸林の多様な学習、など)



小学3年の春と秋の自然観察・サンザシ収穫



小学5年の枝打ち体験支援



小学5年2校のバス研修

成果

万里の松原を拠点に継続的な整備で来訪者が増えてきており、来訪者の要望を受けてフォレストパルでの資料掲示や松原内の野草に名標を添えるなど活動の幅が広がってきた。また、子ども達との協働活動では、年次進行で毎年新たな生徒たちに対応し、多くの子ども達に海岸林での活動を体験させることができた。